

東京宝島チャレンジプロジェクト 小笠原カーボンドレジットによる新しい経済循環の創出

- ・小笠原諸島では、当社『小笠原カーボンドレジットによる新しい経済価値の創出』事業が『東京宝島 チャレンジプロジェクト』に採択されました。
- ・世界自然遺産初のカーボンドレジットを創出し、樹木資源を活用することで「地方⇄都市の新たな経済循環」を創出し、環境保全資金の調達幅を拡充させます。
- ・本事業全体の広報戦略は「ひかりてらす & LDH JAPAN」チームが担い、森林保全（林業）の持続可能性と地方創生を両立させるようなプロモーションを展開します。

東京宝島チャレンジプロジェクトのスキーム



事業採択
「小笠原カーボンドレジットによる新しい経済価値の創出」



小笠原グリーン株式会社（事業実施主体）

woodinfo

カーボンドレジット創出
パートナー

SAKUWOOD

国産木材を活用した
楽器製造パートナー



HIKARI x LDH JAPAN
Terrace

- ・プロジェクト広報戦略及びPR活動
- ・「リサイクルアクリル×OGASAWARA Wood」
多素材と木材のコラボレーション商品開発
- ・全国国立公園とのプロジェクトコラボ



『小笠原カーボンドレジットによる新しい経済価値の創出』事業

事業概要

◆自然環境を活かしたカーボンドレジットの創出

- ・森林・海洋資源による二酸化炭素吸収効果を「カーボンドレジット」として認証を取得し、世界自然遺産・国立公園小笠原から**自然環境を起因とする新しい経済循環**を創出する

◆地域資源の活用によるGXの推進

- ・保全活動で発生した木材を「OGASAWARA WOOD」として製材し、廃材をアップサイクルして価値を生み出す

解決する地域課題

- ✓ 離島における経済多様化（年間約85億円の経済規模のうち約65%にあたる55億円が国や都による補助）
- ✓ 自然資源の保全と地域社会の意識向上
- ✓ 世界自然遺産及び国立公園初の持続可能な環境保全を実現
- ✓ 地産資源をきっかけとした地域ブランディング

展開予定の島

- ✓ 当初は小笠原（父島及び母島）で実証事業を展開
- ✓ 上記事業を通じて得られた知見を活用し、八丈島へ横展開

背景及び目的等

- ✓ 自立的な経済循環の創出
- ✓ 自然環境保全活動に経済的価値を持たせる
- ✓ 世界自然遺産や国立公園の公費依存と慢性的予算不足
- ✓ 伐採した樹木の有効活用

成果目標

- 【自然環境を活用したクレジット創出】
- ✓ クレジット認証のためのエビデンス収集
- ✓ CO2削減量認証取得とカーボンドレジット付き木材の提供
- ✓ 生物多様性指標の算定とクレジット認証の取得
- ✓ 2027年以降 相対取引（入札方式）における売り出し開始
- 【地域資源活用によるGXの推進】
- ✓ 発生材の高付加価値製品化による協賛企業からの活動還元資金の獲得と持続的な活用実現に向けたスキームの構築